

# 「トントンまなびたい」 指導スタンダード 「トントンの森 春夏バージョン」

## 1 ねらい

- ・自分の力で最後まで頑張る。 ・友達と仲良く活動する。 ・ドロドロ、ビシャビシャになって遊ぶ。
- ・自然の中で擬音語を見付ける。「つるつる・ざらざら・つやつや・ぎざぎざ・ぴかぴか・ふわふわ・すべすべ・ちくちく等」
- ・五感を生かして、おもしろい、きれい、ふしぎをたくさん見付ける。

## 2 展開

※場所(森に表示された看板付近)ごとに分類

配時	○数字…子供の活動(予想される子供の姿) ●追加指導事項	・指導者の支援 ◇安全配慮事項
5分	<b>1 トントンを知る。トントンの森の特徴的な木を知る。 学ぶゾーン</b> ① キツツキのドラミングのスピードのクイズ(3択)に答える。 正解「手でたたけないぐらい速い」 ② カメの木を知る。→葉はカメの甲羅の形・冬芽はウサギの耳の形 ③ ホオの木を知る。→森で一番大きな葉にびっくり「ホオー！」 ● 木のシャワーの気持ちよさを感じる。→葉についた雨粒を浴びる ● 空を見上げ、葉と葉の間から見える青空の美しさを感じる。	・ ドラミングの速さを手で表現する。ミュージックプレーヤーで実際の音を聞く。 ・ ウサギとカメの童話を思い起こす。 ・ 葉の大きさと顔の大きさを比べる。 ◇ 森での配慮事項を再確認する。 「走らない、害虫に気を付ける、帽子・長袖着用等」
10分	<b>2 木や葉っぱでおもいっきり遊ぶ。 遊ぶ・感じるゾーン</b> ① 木にぶら下がる、登る、滑る。【ユキツバキの森・猿滑りの木】 ② 葉の血管(葉脈)を透かして見る。葉の笛や鉄砲で遊ぶ。 ● ありの行列を見る。【1番看板と2番看板の間】 ● 「ヤッホッ」と叫ぶ。【2番看板付近・来拝山に向かって】	・ なりきり遊び(動物や物語の主人公) ・ 無駄に採取しない。命を感じる。 ◇ 子供に寄り添い、木からの落下を防止する。
10分	<b>3 急な下り坂や上り坂を歩く。 挑戦ゾーン</b> ① 低い姿勢で、手や尻をつきながら、ゆっくり下る。 ② 草や木につかまりながら、急な坂道を上る。 ● チシマザサを知る。→葉は、ますのすしに使用。スタケ採取。	・ 「自然に助けてもらおう！」 ◇ 事前(始めの会)で、前後への転び方(頭を守る)を練習する。
5分	<b>4 木のよい匂いを感じる。木の強さを感じる。 遊ぶ・感じるゾーン</b> ① クロモジの木のおいを感じる。→茶道の際の爪楊枝で使用。 ② コシアブラの木のおいを感じる。→山菜・天ぷらが美味しい。 ③ 杉の木と相撲をとる。【杉の森広場】 ● 杉の森で遊ぶ。→木に抱き着く。かくれんぼ。 ● 自分の行きたいコースを選択して進む。【4番看板】 ● 杉の木の高さを感じる。→森の中が暗い。	・ 枝の採取した部分が匂いが強い。 ・ 生活で使用されていることを伝える。 ・ 子供全員で杉の木を押し倒してみる。 ◇ 落下した枝の跳ね返りに注意。 ◇ どちらに進んでも合流する。
5分	<b>5 危険な道(丸太・粘土質の道・急な下り坂)を歩く。 挑戦ゾーン</b> ① 丸太の上を落ちないように気を付けて渡る。 ② 粘土質の道を尻で滑ったり、ゆっくり歩いたりする。 ③ 低い姿勢で、手や尻をつきながら、ゆっくり下る。 ● キツツキの穴を見付ける。【5番看板付近】 ● 自分の行きたいコースを選択して進む。【4番看板】	・ 「落ちると熊に食べられるよ！」 ・ 汚れても挑戦するよさを認める。 ◇ 周囲に石があるので、ゆっくり歩く。
10分	<b>6 森で一番の難所を超える。 挑戦・応援ゾーン</b> ① 木の根っこプールを乗り越える。→水の中に入る。ふちを歩く。 ② 右側が崖の道を、崖に落ちないように通る。 ③ 難所を乗り越えようと頑張る友達を応援する。【応援の坂】 ● 大きなクリの木を知る。	・ 汚れても挑戦するよさを認める。 ◇ 崖に落ちないように、左側を歩く。 ◇ 終了した子供の安全管理も大切。 ・ 「大きくてびっくり！」
5分	<b>7 みんなでゴールの喜びを分かち合う。 喜びゾーン</b> ① 7番看板を見つけ、ゴールが近いことをみんなに知らせる。 ② ゴールした喜びを、叫んで表現したり、ハイタッチで共有したりする。	・ 子供どうしの声かけを大切にする。 ・ 子供の頑張りや大いに認める。

# トントンの森 指導スタンダードマップ



## はじめの会

### ◇トントンの森の紹介

- ・四季の話
- ・目印看板を紹介（写真を見せながら）

### ◇がんばること

- ・自分の力で最後までがんばる（泣いてもいい）
- ・仲間と仲良く遊ぶ
- ・ドロドロになったり、ビシャビシャになったりして遊ぶ

### ◇約束

- ・指導者の前には行かない
- ・学びを後ろのお友達に伝えよう

### ◇セーフティトーク

- ・転び方の実践（前・後ろ）⇒『頭』を守る
- ・坂道では手を使うこと
- ・下り坂ではお尻を付いておることを伝える
- ・ハチ等の害虫について（時期によっては伝える）
- ・服装・靴の確認

## バリエーション

指導スタンダード以外にも、いろいろなバリエーションが！  
何度も何度も「トントンの森を楽しもう」！

- |          |          |
|----------|----------|
| ◇生き物をさがす | ◇みんなで探検  |
| ◇葉っぱをさがす | ◇グループで探検 |
| ◇キノコをさがす | ◇ペアで探検   |
| ◇実をさがす   | ◇1人で探検   |
| ◇色をさがす   |          |

◇夜に探検

新しい発見がいっぱい！

## 振り返り

どんな発見をしたかな？ どんな思いになったかな？

- ・見つけたことをたくさん話そう。
- ・今はどんな気持ちかな。
- ・約束は守れたかな。
- ・自分ががんばったこと、お友達と一緒にがんばったことをお互いに褒めあおう。
- ・自然に遊んでもらえたこと、連れて来てくれた先生、一緒に楽しく遊んだ仲間に「ありがとう」
- ・また来てね

## 子供は「発見の王様」

◇見つけたことをその場で具体的にほめてあげよう！

指導者「広い森の中で、小さなアリの行列をよく見つけたね」

## 子供は「感動の王様」※感動=強い印象を受けて深く心を動かすこと

◇子供が感動したことを共感しよう！ 身近な物に置き換えても！

子供「この葉っぱの形がとてもおもしろいな」

指導者「本当だ、おもしろいな。〇〇みたいだね」

## 子供は「不思議の王様」

◇子供の疑問を大切にしよう！

→ 年齢や理解力にあわせて言葉で、内容を伝えよう！

子供「どうして葉っぱが落ちるのかな？」

指導者「冬になると寒くてみんなと一緒に元気がなくなるね」

→ 時にはアニミズムで伝えよう！

子供「どうしてこんなにきれいな花が咲くのかな？」

指導者「花の妖精が、かわいいみんなを待っていたんだよ」

「大人は子供の共感王」になろう！